



地域おこし協力隊 ～三戸高等学校魅力化ミッション～

村田 修子 隊員 (25歳)

青森市出身。協力隊員として、三戸高校の魅力化・魅力発信などを行う「魅力化コーディネーター」として活動を行います。

地域おこし協力隊とは？

都市住民など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を目的として活動します。

4月3日、松尾和彦町長から村田さんに辞令が交付されました。

地元・青森県で教育に携わる仕事をしたいと考えていた村田さんは、以前から興味があった地域おこし協力隊の「高校の魅力化」ミッションに惹かれ、三戸町の地域おこし協力隊員になることを決めました。

村田さんは「町内外問わずさまざまな地域と連携し、生徒の学習をサポートしていきたいです。私も生徒と一緒に多くを学び、三戸高校の魅力向上に貢献できるよう頑張ります」と、今後の活動に対し意気込みを語りました。

絵本『11ぴきのねこ』のキャラクターが石像になって登場！

「おおきなさかな」の石像が仲間入りしました



町出身の漫画家である故・馬場のぼるさんの人気絵本「11ぴきのねこ」シリーズ（こぐま社刊）の第1作目『11ぴきのねこ』に登場するキャラクター「おおきなさかな」の石像が、関根ふれあい公園に設置されました。説明板に近づくと、作中で「おおきなさかな」が歌う中国地方の子守唄「ねんねこさっしやれ」のメロディが流れます。

石像設置は、㈱こぐま社の協力で平成25年度から設置が始まり、令和元年度に絵本のタイトルと同じ11ぴきがそろいました。3月28日には除幕式が行われ、松尾和彦町長と三戸保育園の園児13人が除幕をし、石像がお披露目されました。松尾和彦町長は「絵本から飛び出てきたような、生き生きとした石像になっています。多くの人が作品に親しんでくれると嬉しい」と笑顔で完成を祝いました。

SNSで町からの情報をお届けします。
フォローや友だち追加、お願いします。



Twitter



LINE



Instagram